

目 次

第2版にあたって
はじめに

第1部 罪を犯した人びとの現状

第1章 知的障害者

- 1 罪を犯した知的障害者の現状 003
知的障害の認定 療育手帳 知的障害者の特性 知的障害者の
犯罪の特徴
- 2 発達障害のある人との違い 013
発達障害について 発達障害のある人と犯罪との関係 知的障害者
と発達障害者との違い
- 3 支援・処遇の実際 015
支援・処遇における基本的な視点 生活環境の調整 具体的なアプ
ローチについて
- 4 罪を犯した知的障害者支援の課題 020
福祉事業における受け皿の課題 プログラムの不足 予防的とりく
みについて

第2章 精神障害者

- 1 罪を犯した精神障害者の現状 023
精神障害をどうとらえるか 精神障害者と犯罪 矯正施設に収容さ
れた精神障害者 出所後の状況と支援の必要性

2	支援・処遇の実際	025
	精神障害者の支援 地域生活定着促進事業を通じた支援 ネット ワークを通じた支援	
3	罪を犯した精神障害者への支援の課題	029
	精神障害と症状 精神障害者のための対応 課題	

第3章 高齢者

1	罪を犯した高齢者の現状	034
	高齢社会の到来と不安 高齢者の生活への影響 高齢者犯罪の現状	
2	罪を犯した高齢被收容者の支援の実際	038
	高齢者の環境調整等 罪を犯した高齢被收容者の支援の進め方	
3	罪を犯した高齢者支援の課題	043
	老年期の孤立と居場所 今後の高齢者犯罪	

第4章 子どもと非行

1	子どもの非行への対応	046
	子どもの年齢と法的対応 非行 児童相談所・家庭裁判所の非行統計 非行のある子どもの地域での支援 児童相談所 児童福祉施設 家庭裁判所 児童福祉と少年司法の関係 強制的措置	
2	非行の子どもの支援事例	054
3	非行の子どもの支援の課題と展望	057
	子どもの非行と社会的制裁 被虐待から非行へ 非行の子どもへの 支援の課題	

第5章 その他の支援を要する人びと

1	女性による犯罪と支援・処遇の実際	060
	女性と犯罪 被害者に対する支援 加害者に対する社会復帰の実際	
2	外国人による犯罪と支援・処遇の実際	064
	来日外国人、外国籍住民の現状 司法手続	
3	外国人支援の課題	067
	外国人の増加した社会 共生とその課題	

第Ⅱ部 刑事司法と社会福祉の制度

第6章 成人の刑事司法の過程

- | | | |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 1 | 警察等による捜査 | 073 |
| | 捜査機関／捜査の開始 逮捕・勾留された場合 支援等 | |
| 2 | 検察庁における処分 | 075 |
| | 検察庁における一般的な捜査手続 身柄で事件送致を受けた場合
法務省の専門委員会 支援者による、知的障害を持つ容疑者と検察官との橋渡し | |
| 3 | 裁判所における手続等 | 079 |
| | 第一審での手続等 控訴と上告 | |
| 4 | 刑事施設における処遇 | 081 |
| | 刑事施設の収容人員／新被収容者 刑事施設における被収容者処遇の
改革 処遇の概要 作業 就労支援について 改善指導・教科
指導等 PFI刑務所 | |
| 5 | 更生保護と社会復帰支援 | 087 |
| | 更生保護の目的と内容 更生保護と民間のチカラ 更生保護におけ
る保護観察処遇 専門的処遇プログラム 更生保護改革 仮釈放
社会復帰後の受け皿 保護司、民間協力者・団体／犯罪予防活動 | |
| 6 | 社会復帰支援の現状と課題 | 095 |
| | 犯罪の現状と再犯防止等の対策 ストレngthsを活性化する支援 | |

第7章 少年の司法制度

- | | | |
|---|----------------------------------------------|-----|
| 1 | 少年法と児童福祉法 | 100 |
| | 非行や犯罪をなした少年のための法制度 非行少年とは 非行少年
の処遇と関連する機関 | |
| 2 | 非行少年に対する司法手続の流れ | 102 |
| | 司法手続の流れ 少年司法に関する課題 | |
| 3 | 施設での処遇 | 107 |
| | 少年院の処遇理念 矯正教育の概要 | |
| 4 | 社会での処遇 | 111 |
| | 保護観察 保護観察の内容 保護者への働きかけ | |

5	少年の社会復帰支援	113
	出院後の社会復帰支援 障害のある少年に対する社会復帰支援	

第8章 精神障害者・精神疾患のある人に対する制度

1	医療観察法制度	115
	医療観察法制度の概要 医療観察法制度の流れ 社会復帰調整官	
2	審判における福祉的役割	119
	審判の概要 生活環境の調査	
3	入院処遇における福祉的役割	121
	生活環境の調整 処遇実施計画の策定 指定入院医療機関での福祉的役割	
4	通院処遇における福祉的役割	126
	通院処遇と精神保健観察 ケア会議	
5	医療刑務所における福祉的役割	128
	医療刑務所の概要 精神障害受刑者への福祉的かかわり	
6	触法精神障害者支援の課題	130
	福祉専門職の不足 触法精神障害者のためのアドボカシー 地域精神保健福祉の充実 社会福祉の価値と倫理 地域社会への働きかけ	

第9章 支援・処遇の機関・団体と専門職

1	警察，検察	135
	警察 検察	
2	裁判所，家庭裁判所，家庭裁判所調査官	140
	裁判所 家庭裁判所 家庭裁判所調査官	
3	刑事施設・刑務官	147
	刑事施設と矯正施設 刑事施設での処遇 矯正処遇の種類および内容 障がいがある被収容者に対する処遇 刑務官（刑事施設職員）	
4	保護観察所，保護観察官，社会復帰調整官	152
	保護観察所	

5	地域生活定着支援センター，社会福祉士	155
	地域生活定着支援センターとは 地域生活定着支援センターの事業内容 矯正施設と更生保護施設での対応 地域生活定着支援センター の課題 社会福祉士	

第10章 犯罪に関する民間の活動と担い手

1	保護司	161
	保護司の概要 保護司の職務と実際 課題	
2	BBS会	164
	BBS会の概要 BBS会の活動と実際 課題	
3	更生保護施設	165
	更生保護施設の概要 更生保護施設における援助と実際 課題	
4	協力雇用主	168
	協力雇用主の概要 協力雇用主の活動と実際 課題	
5	教諭師	170
	教諭師の概要 教諭師の活動と実際 課題	

第11章 社会福祉におけるとりくみと専門職の役割

1	矯正・保護と社会福祉の連携	172
	矯正施設に勤務する社会福祉士 地域生活定着支援センター	
2	施設における支援	179
	障害者福祉施設における支援 障害者福祉施設における支援の実際例 更生保護施設における支援	
3	地域における支援	182
	福祉施設から地域での生活への移行 地域における支援ネットワーク 支援者を支えるためのネットワーク 被疑者・被告人段階の支援	
4	事例	187
5	社会福祉におけるとりくみの課題	190
	矯正施設に勤務する社会福祉士の課題 地域生活定着促進事業にお ける課題 福祉サービスの提供に関する課題	

第12章 犯罪者の社会復帰における課題

- 1 社会保障からみた社会復帰への課題 196
社会保障制度の概要 住民票 年金保険 雇用保険 労働者災害補償保険（労災保険） 医療保険 介護保険 課題
- 2 医療・福祉からみた社会復帰への課題 202
医療・福祉が必要とされる犯罪者の社会復帰の現状 福祉施設への受け入れについて 医療分野の課題について 今後について
- 3 スティグマ，社会的排除からみた課題 213
受け入れられることの困難 刑事施設釈放者のスティグマ 社会的排除をこえて

あとがき

監修のことば

- ・社会福祉学の立場から
- ・刑事法学の立場から

文献リスト

事項索引